



景色を守るために考えたいこと

堀野 文貴

七ヶ浜町には、松島四大観の一つ、多聞山があります。多聞山は、ぼくが住んでいる代々崎浜にある小高い山で、昔はそこから松島の島々がきれいに見えたそうです。海に囲まれた七ヶ浜町の中でも、特に景色がすばらしい場所として知られていて、遠くから見に来る人もいると聞いたことがあります。ぼくは、家族と一緒に多聞山に登ったこと

があります。山の上から海が見えると思って楽しみにしていたのですが、木の葉がいつぱいで、松島の景色がほとんど見えませんでした。その時、せっかくの名所なのに、もったいないな、と思いました。どうして木を切って景色を見えるようにしないのか、お父さんに聞いてみました。すると、

松島は国の「特別名勝」に指定されていて、七ヶ浜もそのはん囲にふくまれているから、

景観を守るために木を勝手に切ることを
なないんだよね。

と教えてくれました。ぼくは、

「時間がたてば木はどんどん成長するの

に、景色が見えにくくなっても、すぐには切

れないだっ

とお父さんが言っていたことか心に残

った。自然を守ることは、とても大切な

ことだと思います。でも、景色を楽しむ

ためには、自然と景観のバランスを考

えることも必要ではないでしょう。木を全

部切るのでなく、展望台から松島が見える

ように木を切って環境を整備すれば、自然

と景色の両方を守ることができると思

います。ぼくは、代々横浜の人たちと一

緒に「景色を守る活動」ができてきたら

いいなと思います。例えば、季節ごと

に多聞山の景色を写真に撮って、木の

成長の様子を記録する活動です。それ

を町の人たちと共有すれば、今のま

少し整えたほうがいいんじゃないのか。と話し合ってもらえるきっかけになると思います。

また、学校でも、七ヶ浜の名所や自然について調べたり、かべ新聞にまとめたりすればいいと思います。多聞山だけではなく、七つの浜それぞれにすてきな場所があるのだから、みんなで紹介し合えば、町の良さをもっと知ることができます。

七ヶ浜の美しさを守るためには、自然を大切にする気持ちと、景色を楽しむ工夫の両方が必要です。そして、それを考えるのは大人だけではなく、子供にもできることだと思います。ぼくは、代ヶ崎浜にある多聞山から始めて、七ヶ浜全体の美しい景色を未来に残していけるように、自分にできることをこれから考えていきたいです。